

令和6年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市塩山B & G海洋センター			検証日	令和7年7月3日	
	所管課 担当名	生涯学習課 スポーツ振興担当	課長名	小林好彦	作成者名	八巻一也	
	指定管理者	名称	株式会社 フィッツ				
		代表者	代表取締役 橋本 篤幸				
		所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
		指定期間	令和3年(2021年)4月 ~ 令和8年(2026年)3月				
	管理施設の 概要	施設所在地	甲州市塩山小屋敷1888番地3				
		設置目的	市民の健康増進及び青少年の健全育成を図るために、財団法人ブルーシー・アンド・クリーンランド財団から無償譲渡を受けた甲州市B&G海洋センターを設置する。				
		利用者	市民及び市民以外	施設管理 体制	16名	開館日 時間等	9:00 ~ 21:00 (土日祝日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定 管理 業務		(1) 海洋センターの利用の許可に関すること (2) 海洋センターの施設及び設備器具の維持保全に関すること (3) 海洋センターの利用に係る料金に関すること (4) 海洋センターの管理に関し教育委員会が必要と認めること					
	自主 事業	【プール】 (1) スイミングスクール・夏休み水泳教室(幼児～高校生) (2) 大人のための各種スポーツ教室(ヨガ・足ひれ水泳教室・アクティブシェイプ等) (3) 小学校初心者水泳授業 (4) 水の安全教室(市内保育園) (5) 着衣泳・防災教室(県内B&G指導者会と連携) (6) カヌータイムトライアル、クリーンフェスティバル(県内B&G指導者会と連携) (7) 市内外からの合宿誘致 (8) 泳力検定会(ハッチテスト)の開催 【トレーニングルーム】 (1) 初心者スクール					

DO	管理運営コスト推移 (千円)	令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	令和6年度 (指定期間4年目)	令和7年度 (指定期間5年目)	
	予算	指定管理料	25,000	25,000	25,000	25,000	
		利用料金収入	2,000	2,200	2,550	2,800	
		その他収入	15,000	16,500	19,600	18,600	
		管理運営経費	42,000	43,700	47,150	46,400	
	決算	指定管理料	25,000	25,000	25,000	25,000	
		利用料金収入	2,138	2,363	2,708	2,497	
		その他収入	17,007	18,063	18,955	25,643	
		管理運営経費	46,070	46,231	46,557	50,265	
		収支	-1,624	-805	106	2,875	
	施設の稼働状況	令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	令和6年度 (指定期間4年目)	令和7年度 (指定期間5年目)	
指標	温水プール利用者数(人)	24,132	26,994	30,500	34,570		
	トレーニングルーム利用者数(人)	4,141	4,569	5,436	5,123		
	活動結果	施設利用状況について、プール施設は、103.0%と目標を上回った。年間を通じて昨年を上回る利用者となり好調であった。一方でトレーニングルーム施設は、85.7%と目標を超えることができなかった。猛暑日や熱中症アラートが発令される日も多くあったり、降雪や寒波の訪れる日もあったため、夏以降は、安定した利用者増加とはならなかった。今後は、トレーニングが快適に行える場所づくりなども必要であると感じた。					

CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
	(1) 事業の運営	4	基本協定書及び事業計画書に基づき、適切に管理運営が行われている。小学生初心者水泳事業や着衣泳体験等は、安全に水に親しむ取り組みとして実施しており、地域に貢献している。定期的な水泳教室の他に、目的別の教室や参加可能な時間帯などを設定したことによる、新規固定客が増え安定した自主事業収入に繋がっている。
	(2) 施設の維持管理	3	設備等は定期的に点検等を実施し、老朽設備等についてもメンテナンス及び軽微な修繕を計画的に実施しながら維持管理に努めている。衛生面に留意し、日常の清掃を徹底するなど、常に施設を清潔に保つ努力が図られている。周辺環境の保全及び衛生管理の徹底や職員への研修実施によるスキルアップなどが図られている。
	(3) 収入支出	4	物価高騰の影響により、光熱水費、需用費等増大し、人件費については、賃金見直しにより予算超過となったが、自主事業を積極的に開催したことにより、確実に利用者数が増加し、安定した収入の確保に繋がっている。
	(4) 総合評価		総合評価の説明(施設所管課による一次評価)
	優良 良好 妥当 要改善 不適	良好	基本協定書及び事業計画書に基づき適切な管理運営が行われていた。物価高騰の影響により光熱水費や人件費が増大となり予算超過したが、自主事業の拡大や業務効率化等を行ったことで昨年度より270万円の収支増となり、安定した施設運営・管理ができていると評価できる。

ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応	
	当面の課題	施設老朽化に伴う修繕箇所については緊急的な閉館を回避するために主要箇所については修繕が必要となる。夏は猛暑日や熱中症アラートが発令される日が多くなり、冬は降雪や寒波の訪れる日があるため、利用者の利便性や安全性を考慮して適切な施設管理を行っていく必要がある。
	課題解決への対応	令和8年度の大規模改修工事に向けて工事設計を実施しているため、設計業者との協議を適時行い修繕箇所を精査していく。緊急的な故障箇所が発生した場合は早期対応をする。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。
 ・通常の水泳教室以外にもニーズに合わせた事業展開により着実に利用者数が拡大している。
 ・物価高騰がある中で管理運営経費が増加しているが、自主事業収入の大幅増加により安定した経営ができている。引き続き創意工夫とノウハウを活かした取り組みを行っていただきたい。